

■ ジャパンデー「ビジネス意見交換会」



庭園を臨む会場にて開催



日中の逐次通訳にて実施



柴田座長



日本側メンバー



中国側メンバー

■ 博覧会会場視察



カートにて会場視察



事務局通訳スタッフが案内



記念撮影



石原和幸氏設計による庭園「桃源郷」(国際デザイナーズガーデン内)



北京市庭園



上海市庭園

■ ジャパンデー記念レセプション



日本国出展エリア（日本庭園と日本展示館）で開催



長井 国土交通省官房審議官挨拶



涌井 日本国出展委員会委員長挨拶



小川洋利先生によるすしコーナー



すしを楽しむ海外招待者の皆様



花いけライブパフォーマンス



レセプションの様子

■ ジャパンフェスティバル「花いけバトル」



日本と中国のアーティストによるバトルで盛り上がる



5分の制限時間で作品完成



審査は観客の皆様が行う

■ 2027 年横浜国際園芸博覧会プレゼンテーション



横山 横浜市議会議員挨拶



横浜クイズ

■ジャパンフェスティバル「日本の縁日」



けん玉体験



ハッピー撮影体験



お花すくい



風船ヨーヨー釣り

■ジャパンフェスティバル「庭園解説イベント」

主 催／2019年北京国際園芸博覧会 屋外出展実行委員会 開催日／9月13日～9月14日 会場／日本庭園



■ジャパンフェスティバル（関連イベント）

北京国際園芸博覧会 開催記念シンポジウム

主 催／公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 開催日／9月14日 会場／清華大学建築学院ホール



■ クロージングセレモニー



原口 在中国日本国大使館参事官挨拶



古澤 国土交通省都市局公園緑地・景観課 課長挨拶



焦 博覧会協会国際部長挨拶



日本国出展寄贈式



だるまの目入れ式



鯉のぼり降納式



記念撮影

■屋外展示（日本庭園）

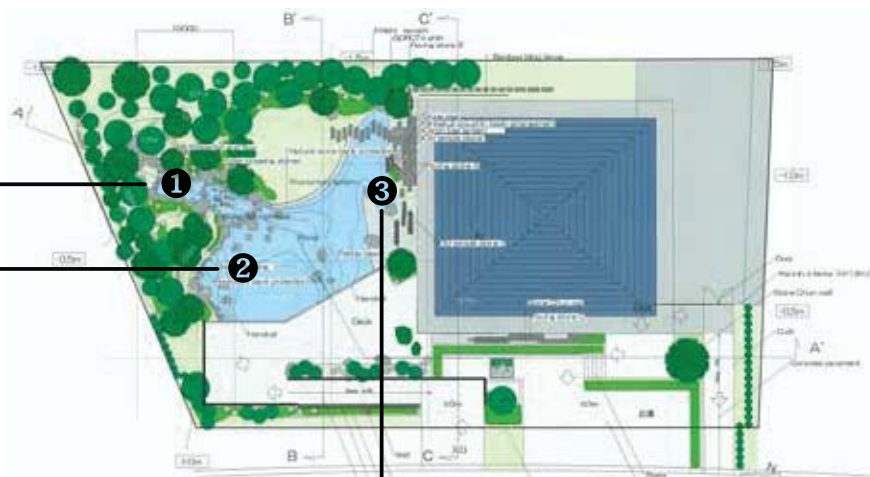
正面玄関 塗壁と園名板

日本国出展の正面を飾る塗壁と金閣寺垣を配置し、日本国出展の奥行きを表現した。



① 三段の滝と石組み

遠方の山々を借景として、深山に見立てた三段の滝の一景を現している。石は北京の近郊の石を利用した。



② 池と錦鯉

大海をイメージした池を配置し、池には長岡と小千谷市の錦鯉が泳いでいる。



③ 前庭

中国の石材と日本の竹などの素材を持ち込み、庭を造った。中国の古い石材も景物として配置した。





イベントスペース（芝生広場）

○庭園北側には、日本の伝統的な舞や技などを披露する芝地の広場を設け、両国の人的、経済的交流の一層の拡大につながる文化交流の場として日本の魅力を伝えた。

○水面に接する石積みは、日本伝統の自然石を用いた谷積みを施した。



水蛭灯籠と金閣寺垣



金閣寺垣と春日灯籠



州浜

○灯籠と竹垣

元来社寺の献灯として用いられており形など用途により形状は多岐にわたり、茶会の照明具として広く庭園に用いられるようになった。

日本庭園技術の代表的な施設として、金閣寺垣・建仁寺垣・御簾垣など、多くの竹による垣根を整備した。



鯉のぼりと坪庭

○植栽

環境保全の観点から地域性材料を中心に中国在来種等で構成され、マツ・モミジ・ヤマボウシ等を主体に約 400 本と草本類を植栽した。そして、この工法は維持管理作業の軽減にもつながるという効果がある。

○池

京都御所の御池庭をモチーフに州浜を強調した池とした。滝口の豪快な石組みから大海のやさしさを表現した。